

# MIKADO 02

この度、TEZUKAYAMA GALLERYではグループ展「MIKADO2 – My baby collection」を開催いたします。

中心の不在をその構造にもつ展覧会を作ることを目的として活動するMIKADO2(ミカド2)は2021年にその活動をスタートします。主要なメンバーは山田周平、小池一馬、金光男、神馬啓介の4人のアーティストです。

第1回目のMIKADO2(会場：瑞雲庵・京都/2021)では、キュレーションしないキュレーション、すなわち、“キュレーターの不在”というテーマのもと、展覧会を行いました。

MIKADOという言葉はヨーロッパではポッキーの名称であり、フランスでは竹ひごを使ったゲームであり、日本では天皇を意味します。この例が表すように、この言葉は指示する対象が複数にわたります。通常、キュレーターはあるテーマの下、テーマに沿った作品を集め(中心にある意味に向かって)展覧会を作ります(キュレーションします)が、MIKADOという言葉が複数の事象を指示するのに習い、一つのテーマ(中心)に収斂しない構造を展覧会に持たせることを目的としました。

第2回目となる今回は、架空のコレクターのコレクション展という”コレクターの不在 “をテーマに展覧会を行います。MIKADO2の主要メンバーの作品のみを偏愛し、蒐集しているハワイ在住の日系アメリカ人男性(女性)コレクターが、彼(彼女)の理想とするコレクションルームを観賞者に披露するという設定のもと、フィクションとノンフィクションが錯綜する展覧会を目指します。

是非、この機会にご高覧下さいませ。

## 山田 周平 | Shuhei Yamada



ニヒリズムとユーモアをベースに現代社会に対する考察を通じて作品を制作。写真、映像、立体、平面、と様々な作品形式を展開しながら、ミニマルでコンセプチュアルな作品を制作。作品は、それ自体の意味だけではなく、文脈との関係において見る者に解釈を委ねる作品が多い。2013年、アーモリーショーのキュレーション部門において、当時アンディウォーホール美術館（ピッツバーグ）館長のEric Shinerにより唯一の日本人として選出され、様々なメディアで話題となった。主な個展に Daiwa Anglo-Japanese Foundation（ロンドン/2019）AISHONANZUKA（香港/2017,16,14）The Armory Show（ニューヨーク/2013）CAPSULE（東京/2012）。主なグループショーに「positionality」京都市立芸術大学ギャラリー@KUCA（京都/2022）「HELLO KONNICHIIWA」AISHONANZUKA（香港, 2021）「Next World—夢みるチカラ タグチ・アートコレクション × いわき市立美術館」いわき市立美術館（いわき市/2021）「KUROOBANACONDA 03 SANMAIOROSHI」TEZUKAYAMA GALLERY（大阪/2021）「MIKADO2」瑞雲庵（京都/2021）「Unclear nuclear」URANO（東京/2016）「Resonance」Sao La Gallery（ホーチミン/2014）への参加がある。2003年、写真新世紀優秀賞受賞。2017年、ISCPレジデンスプログラム（ニューヨーク）に参加。主なコレクションにタグチコレクション、G foundation。

## 小池 一馬 | Kazuma Koike



画家・彫刻家。1980年生まれ、大阪府在住。幼少期をブエノスアイレス、高校時代をバルセロナで過ごす。日本大学藝術学部美術学科彫刻専攻卒業。「架空の古代遺物」をテーマに、偶像、ツボ、大型ネコ類、植物、パイナップルなどをモチーフにしたセラミック彫刻、ペインティング、ドローイングを制作している。「異なる要素が調和しながら共存した状態」や「モノの用途や意味が変化する過程」への関心のもと、異なる場所/時代に由来するイメージをミックスして作られる作品は、どこにも属していないかのような独特の浮遊感をまとっている。主な展示に、私立大室美術館(三重/2021)、AISHONANZUKA(香港/2019,16,13)、TEZUKAYAMA GALLERY（大阪/2020,17,14）での個展、「End of Eden」Galerie Wolfsen(オールボー/2022)「INTERSECTION」AISHONANZUKA(香港/2022)「キャマ」Mitsukoshi Contemporary Gallery(東京/2021)「KUROOBANACONDA 03 SANMAIOROSHI」TEZUKAYAMA GALLERY(大阪/2021)「MIKADO2」瑞雲庵(京都/2021)「HELLO KONNICHIIWA」AISHONANZUKA（香港/2021）への参加がある。

## 金光男 | Mitsuo Kim



1987年大阪府生まれ。三重県在住。シルクスクリーンの技法を応用し、蠟を塗ったパネルに定着させたイメージに熱を加えることで、そのイメージが溶けて崩れながら固められるという独自の手法を使って作品を制作。その手法を通じて在日3世として日本に生まれ育った状況を投影している。

主な個展に、「グッド・バイ・マイ・ラブ」LEESAYA(東京/2021)「CONTROL CONTROL」LEESAYA(東京/2020)「APERTO 01 White light White heat」金沢 21 世紀美術館(金沢/2014)「CONFUSION」MA2Gallery(東京/2014)「Control」eN arts(京都/2022)「SWITCH」AKI Gallery(台北/2013)など。主なグループ展に、「Positionality」Gallery @KCUA(京都/2022)「MIKADO2」瑞雲庵(京都/2021)「What's Next?」ART ZONE(京都/2014)「VOCA 2014」上野の森美術館(東京/2014)など。

2016年に京都市芸術新人賞を受賞、2014年にVOCA2014奨励賞を受賞、2012年にアートアワードトーキョー丸の内2012にてフランス大使館賞/木幡和枝賞、群馬青年ビエンナーレにて奨励賞、京都美術工芸新鋭展にて朝日新聞賞を受賞。

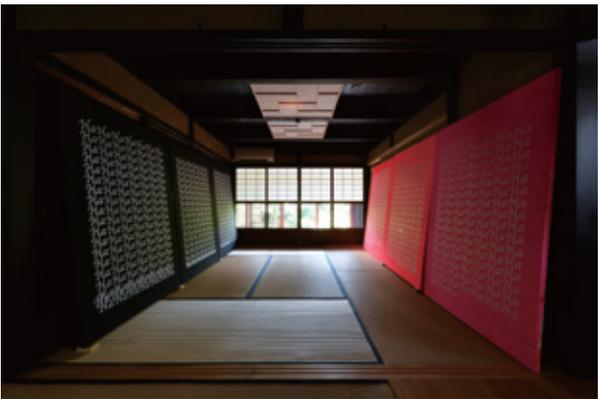
## 神馬 啓佑 | Keisuke Jimba



1985年愛知県生まれ、京都府在住。京都造形芸術大学に在籍中から、大学院修了後、今日に至るまで京都に拠点を置きながら、主に絵画制作に取り組んできた。近年はLIXILギャラリーでの個展「スピリチュアル イマジネーション」をはじめ、2016年には「VOCA展 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」(上野の森美術館/東京)に出品するなど、注目を集めている。主な個展に、「当然の結末#6(共同住宅、個人的体験)」LEESAYA(東京/2019)「当然の結末#3(好物の話)」VOU(京都/2018)「当然の結末#2(鑑賞と干渉、言語能力、円周軌道)」Gallery PARC(京都/2018)「所有物について」block house(東京/2017)「塑性について」N-mark(愛知/2015)など。主なグループ展に「じゃがいもがポテトになる時」VOU(京都/2022)「double blanket」haku(京都/2021)「MIKADO2」瑞雲庵（京都/2021）「蘇生と塑性」ARTZONE(京都/2018)「Dialogue」TEZUKAYAMA GALLERY(大阪/2017)「肉とヴェール」京都芸術センター(京都/2016)「スピリチュアルイ マジネーション」LIXILギャラリー(東京/2016)「VOCA 展 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館(東京/2016)など。

これまでに「KUAD graduates under 30 selected」展にて U30 作家賞 / 東山アーティストプレイス (HPAS) 賞、ULTRA AWARD 2011 にて最優秀賞、アートアワードトーキョー丸の内 2009 にて高橋明也賞などを受賞。

□ 前回の展示写真 | Past Exhibition View



Exhibition View of MIKADO2 / 会場：瑞雲庵・京都 (2021)

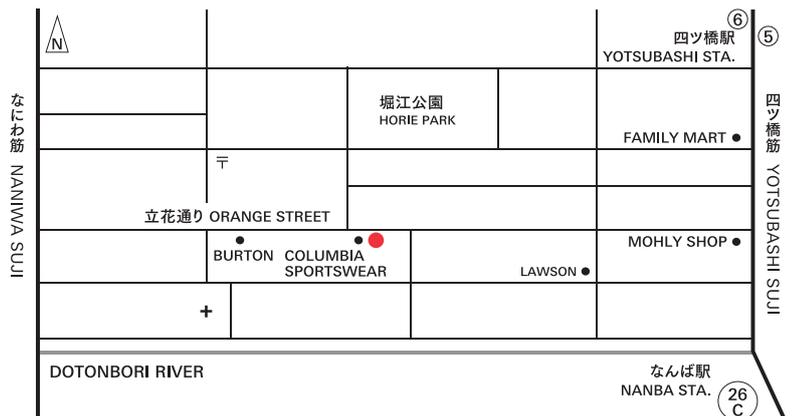
□ 展覧会情報 | Exhibition Info

# MIKADO2 - My baby collection

山田 周平 | Shuhei Yamada  
 小池 一馬 | Kazuma Koike  
 金光男 | Mitsuo Kim  
 神馬 啓佑 | Keisuke Jimba

2022.11.25 [Fri] - 12.24 [Sat]

会場：TEZUKAYAMA GALLERY - VIEWING ROOM



営業時間: 火 - 土 12:00 - 19:00 | 休廊日: 日曜日・月曜日・祝日  
 OPEN: Tue - Sat 12:00 - 19:00 | CLOSED: Sunday, Monday and Holiday  
 お問い合わせ: info@tezukayama-g.com / 岡田 (TEZUKAYAMA GALLERY)

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-19-27山崎ビル2F  
 Yamazaki Bldg. 2F, 1-19-27 Minami-Horie, Nishi-ku, Osaka, 550-0015 JAPAN  
 tell: +81 6 6534 3993 / instagram: tezukayama\_g